

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

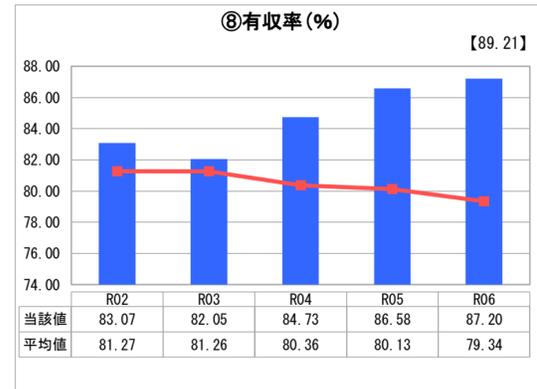
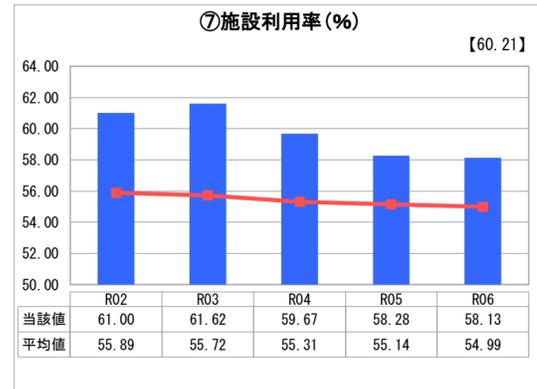
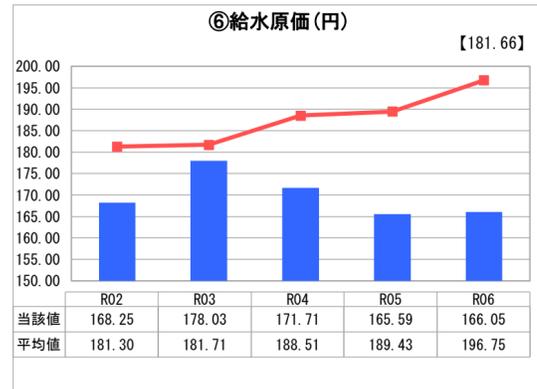
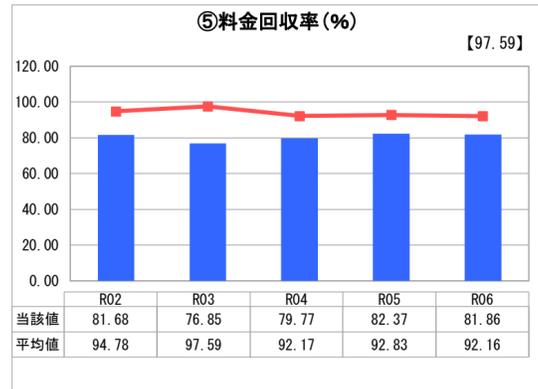
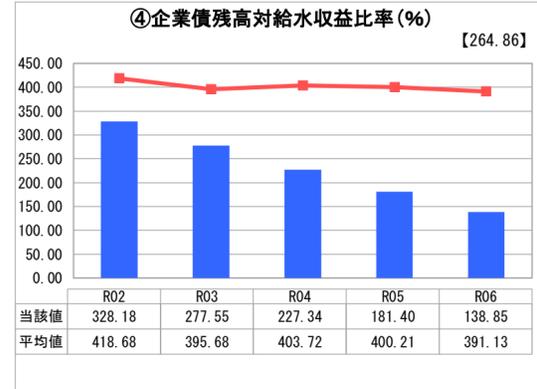
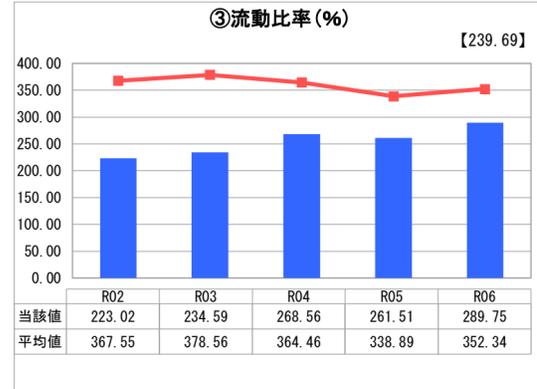
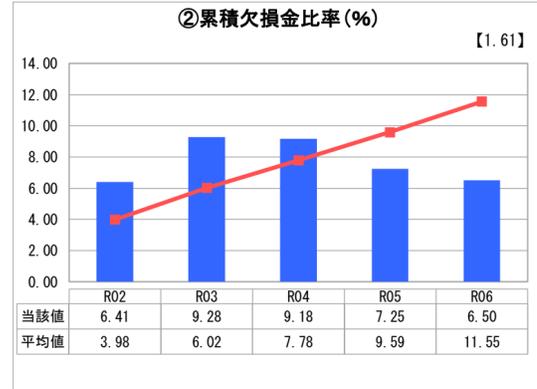
長崎県 松浦市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	86.65	99.84	2,524	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
20,439	130.55	156.56
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
20,216	86.50	233.71

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

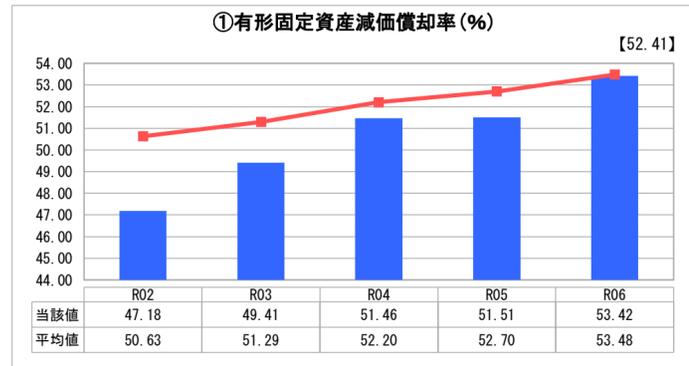
### 1. 経営の健全性・効率性について

① 令和6年度は令和5年度に引き続き経常収支比率が100%を上回った。前年度より営業費用が増えたものの長期前受金戻入の増もあり、100%を超えることができた。引き続き経営改善を図っていかねばならない。② 令和6年度は令和5年度に引き続き純利益が計上されたため、累積欠損金の減少につながった。今後の費用増加に備え、欠損金の解消に努めなければならない。③ 企業債償還金の減少に伴い数値が改善し前年度よりも数値が改善しているが、今後は資産更新に伴う企業債発行の増加が見込まれるため、流動資産を大きくする取組みが必要とされる。④ 令和6年度に企業債の発行はなく類似団体平均値より低い数値となっている。施設更新事業を行う場合にも収支バランスを取りながら、類似団体平均値以下を保ちたい。⑤ 経常費用が増えたため前年度より低くなっており、また、類似団体平均値よりも低い水準となっている。今後の施設更新費用を見据えて類似団体平均値に近づけるように努めたい。⑥ 給水原価については前年度よりも増加したものの、類似団体平均値を下回っている。今後有収率を改善し、水道水を安価に作れる利点を生かした運営を行う。⑦ 前年度より減少したものの、利用率の類似団体平均値を上回っている。今後は給水人口の推移に合わせた施設のダウンサイジングの検討も視野に入れなければならない。⑧ 有収率は、前年度に引き続き増加傾向である。しかしながら、全国平均を下回っているため、管路更新、漏水調査などにより、漏水等の原因を解消したい。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は類似団体平均値よりも下回っているが増加傾向にある。減価償却が進んでいる旧上水道施設から計画的な更新が必要とされている。② 管路経年化率は増加傾向にある。管路は法定耐用年数を超過しているものも多く使用している。耐震化を図っていく必要もあり、重要施設につながる緊急性が高い箇所を厳選して実施する。③ 管路更新率は類似団体平均値を下回っており、経営戦略の見直しにより計画的な管路更新が必要である。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

令和7年度中に経営戦略の見直しを行い、料金改定も含めた水道収益の見直しと企業債の活用等の検討を進め、耐震化、老朽管更新、施設のダウンサイジング等計画的な整備を進めていく。